

多文化共生出前講座



7月20日（水）坊勢中学校で、多文化共生出前講座を実施しました。参加したのは、1年生から3年生の生徒約50名です。多文化共生マネージャーの資格を持つ財団職員が講師を務めました。

ウォーミングアップの国旗クイズの後、「ひょうたん島問題」を基にしたワークショップを行いました。違う文化や習慣を持つ人々が仲良く暮らすためにどうすればいいかをグループで話し合い、全体で共有しました。たくさんの素晴らしいアイデアが飛び出し、中学生の柔軟な発想に感心させられました。

また、多文化共生の障害となる「文化の壁」について紹介しました。自分にとっての当たり前が外国の人たちにとっては当たり前ではないこと、どちらがいいかではなくお互いを尊重することが大切であると伝えました。

後半は「やさしい日本語」にも挑戦しました。やさしい日本語とは、外国人にとって分かりやすい日本語のことです。少しのやさしさと少しの工夫で、コミュニケーションがとりやすくなることに気付いてもらえたようです。

これからの時代を担う中学生のみなさんが多文化共生を理解し、姫路が誰もが住みやすい町になるよう、貢献してもらえたらと願います。

